

教育プログラム・コースの概要

大学名等	大阪公立大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	造血器腫瘍プレジジョン・メディシン(個別化医療)専門医養成コース(正規課程)						
対象職種・分野	医師						
修業年限(期間)	3(早期修了)～4年						
養成すべき人材像	造血器腫瘍において遺伝子変異情報に基づいた、より正確な診断や治療計画を立てることが出来る血液専門医を養成する。						
修了要件・履修方法	必修科目および選択科目で計30単位以上を履修し、博士論文審査および最終試験に合格すること。						
履修科目等	<p><必修科目> 腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)(2単位)、腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)(2単位)、発表表現演習(2単位)、研究指導(8単位)、研究公正B(1単位)、医学研究概論(1単位)、医学研究基本演習(1単位)、医学研究セミナー(1単位)</p> <p><選択科目> CS演習(1単位)、SP演習(1単位)、がん医療学実習(6単位)、他専門科目</p>						
がんに関する専門資格との連携	血液医専門医(日本血液学会)の研修施設として認定。						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	次世代シーケンサーの発展により、造血器腫瘍特異的で網羅的な遺伝子異常の同定ができるようになってきている。造血器腫瘍においても欧米の診断・治療ガイドラインには、ゲノム情報が掲載され、ゲノム情報に基づく適切な診断・治療を行うことが推奨されている。造血器腫瘍においても固形腫瘍と同様に、がんゲノム医療実現に向けてのプレジジョン・メディシン(個別化医療)が行える血液専門医の育成は喫緊の課題といえる。加えて、プレジジョン・メディシンの遂行に必要なビッグデータ概念や医療ビッグデータの構築と解析を支える技術・知識である、医療情報に関連する法や指針の動向、データ収集方法、前処理方法、AI・機械学習、およびビッグデータ活用方法などを実際の造血器腫瘍のデータをベースに教育を行う。						
指導体制	血液内科専門医、指導医が行う。						
修了者の進路キャリアパス	血液専門医を取得し、血液疾患領域におけるがんゲノム医療を実践できる医師として活躍が期待できる。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5
受入(養成)目標人数設定の考え方・根拠	大阪府内の国指定の19、府指定50のがん拠点病院に血液専門医を最低4-5人ずつ配置することを目標にすると、大阪府の血液専門医数が332人のため今後5年間で5人養成する。また、過去の大学院志願者数及び入学ニーズ調査から毎年度1人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を5人と設定。						